**新川崎ベンチャー大賞　応募事業説明書　（応募様式 2）**

以下の大項目１）～３）と各小項目をインストラクションに従って記載してください。

書式は自由（図の貼り付けも可）ですが、この様式２の他に補足資料（パワーポイント形式やPDF形式）を規定の容量の範囲内で別途添付いただくことも可能です。

**１）事業の名称**

応募様式1と同じ名称を記入してください。

**２）事業に関する説明**

（以下1.～6.はA4用紙 4ページ以内で記載してください。項目ごとの配分は自由です。）

1. 事業の概要

応募様式1「事業概要」と重複しても構いません。

* 応募事業が応募社の主力事業なのか、新規事業なのかについても記載してください。
* 製造販売、受託開発、ライセンスアウト、サブスクリプションモデル等、ビジネスモデルを想起させる用語も記載してください。
1. 事業開始の動機・背景

応募事業をなぜ実施しようとしたのか等の動機や、起業または社内ベンチャー、新事業展開、第2創業に至った背景を記載してください。

1. 対象顧客と市場規模
* 応募事業が対象とする顧客と、顧客のニーズや解決を必要とする課題について記載してください。
* 市場規模について、顕在市場の置き換えや新たに掘り起こす潜在市場を数字（金額）で記載してください。
1. 提供する製品・サービスと技術の新規性・優位性
* 独自の価値提案の内容とそれを実現した（する）技術の概要を記載してください。
* 技術の革新性、競合技術に対する優位性、知財戦略について記載してください。
* 出願済みの特許等があれば記載してください。

本応募に関して秘密保持契約は締結しませんので、特許出願前の情報等、秘密情報は開示しないでください。また、実施権の内容について守秘義務がある場合には開示しないで下さい。（本応募により予期せず損害が発生しても、主催者及び後援者は一切の責任を負いませんので、ご注意ください）。

1. 顧客開拓・販売チャネル・収益モデル
* 特定の顧客セグメントに対して、どのチャネルを通じてアプローチするのか、顧客開拓の方策について記載してください。
* 提供する製品・サービスの商流と収益構造について記載してください。

開示することに問題がある場合は、伏字や抽象化して説明してください。

1. 本事業がもたらす社会的インパクト

SDGs（持続可能な開発目標）17の目標に照らして、本事業がもたらす社会的インパクトについて記載してください。

**３）事業の実施に関する説明**

（以下1.～4.はA4用紙 2ページ以内で記載してください。項目ごとの配分は自由です。）

1. 事業実施体制

事業実施にあたり必要な社内リソース、社外の協力リソース、連携している大学や研究機関又は事業会社について記載してください。

具体的名称を開示できない場合には伏字で記載してください。（例）商社A社、B大学工学部　など

1. 事業の実績（開示できる範囲で記載）

応募事業を既に展開している場合には、開示可能な範囲で実績の数字（売上等）を記載してください。開示できない場合にはその旨を記載してください。

尚、応募事業が新事業や第2創業の場合に、既存事業と対比する目的で既存事業の数字を記載いただいても結構です。

本項目に記載した内容だけで十分に説明できる場合には、次項の記載は不要です。

1. 開発計画と実現可能性（開示できる範囲で記載）
* 未だ事業展開が始まっていない場合には、製品・サービスを市場へ投入するまでの開発計画を記載してください。
* 既に事業展開が始まっている場合でも、市場拡大へ向けたバージョンアップや新規市場を開拓するための製品開発などがありましたら記載してください。
* 開発のリスクとその低減に向けた方策を開示可能な範囲で記載してください。

（秘匿したい事項は絶対に記載しないで下さい。本応募により予期せず損害が発生しても、主催者及び後援者は一切の責任を負いませんので、ご注意ください）。

1. 川崎市との関係性および支援ニーズ
* 川崎市内に本社や事業所・研究所を持たない企業で、これまでどのような市内企業との連携を行ってきたか（又は連携を模索中なのか）を記入してください。
* 今後川崎市に対して支援（資金支援以外）を望むことがあれば、記載してください。
* 川崎市内に本社や事業所・研究所があり、支援ニーズもない場合には本項への記載は不要です。

以上

* 指定ページ数は上限です。少ないページ数でも内容が十分なら問題ありません。

本様式2（事業説明書）の他にパワーポイント形式またはPDFのプレゼン資料を必要に応じて添付可能です。ただし、様式1、様式2とパワーポイント／PDFファイルのサイズ合計が10MB未満になるように作成してください。提出はファイル転送サービスを利用しないで、直接メールに添付してください。

* 本様式の提出に際しては、青字や赤字で記載したコメントは削除してください。